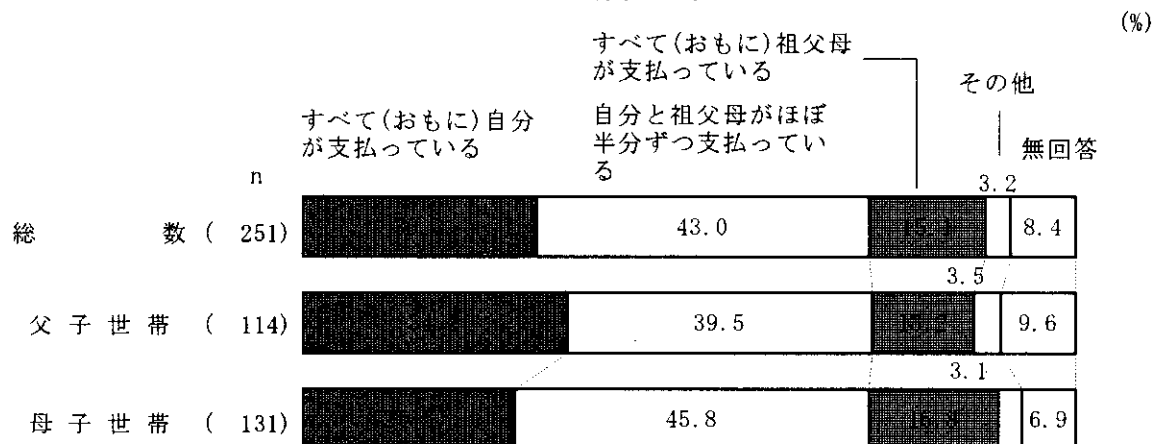


(b) 食費

図2-5-2 食費の支払い



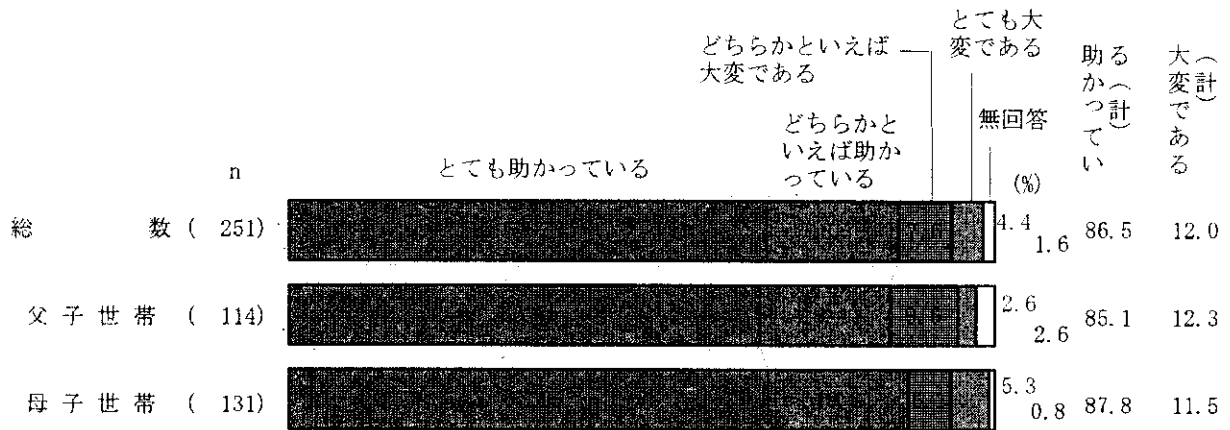
次に、食費の支払いについてみると（図2-5-2）、「自分と祖父母がほぼ半分ずつ支払っている」と答えた人が43.0%と多く、次いで「すべて（おもに）自分が支払っている」（30.3%）が続き、「すべて（おもに）祖父母が支払っている」と答えた人は15.1%となっている。

男女別にみると、「自分と祖父母がほぼ半分ずつ支払っている」（父子世帯39.5%、母子世帯45.8%）と答えた人は母子世帯で、「すべて（おもに）自分が支払っている」（同34.2%、27.5%）と答えた人は父子世帯で多くなっている。

(6) 子どもの祖父母との同居についての意識

問16 あなたは、祖父母と同居していることをどのように感じていますか。(○は1つ)

図2-6-1 子どもの祖父母との同居についての認識



祖父母と同居していることについてどのように感じているかをみると(図2-6-1)、「とても助かっている」67.7%、「どちらかといえば助かっている」18.7%、「どちらかといえば大変である」7.6%、「とても大変である」4.4%である。

男女別にみても、母子世帯と父子世帯には大きな差はみられない。

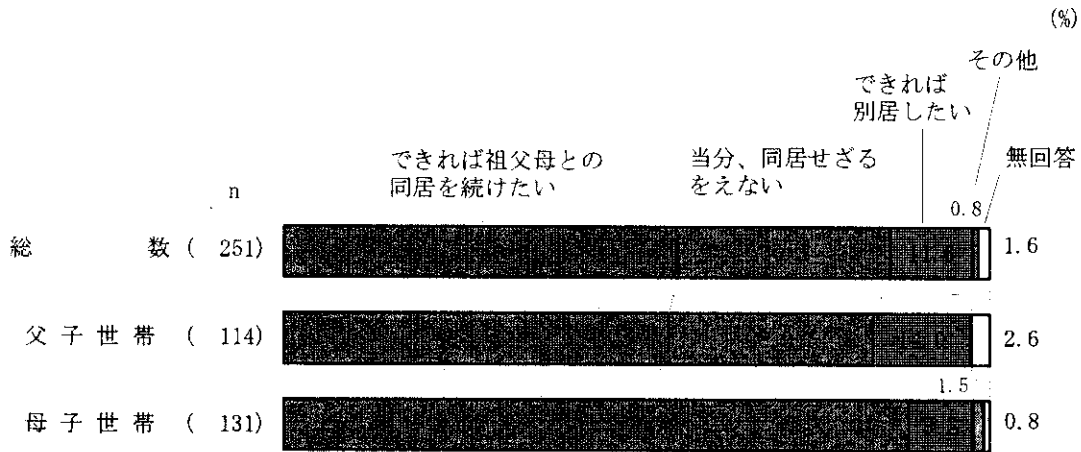
勤労収入別や子どもの祖父母と同居し始めた時期別にみると（表2-6-1）、いずれも『助かっている』と答えた人が多くなっているが、「とても助かっている」と答えた人は、ひとり親家庭になったときに同居を始めた人（74.6%）が多い。一方、ひとり親になった後しばらくして同居を始めた人では、「どちらかといえば大変である」（10.7%）、「とても大変である」（14.3%）という回答が相対的に多くなっている。

表2-6-1 子どもの祖父母との同居についての認識（勤労収入別、祖父母と同居し始めた時期別）

	n	とても助かっている	どちらかといえば助かっている	どちらかといえば大変である	とても大変である	無回答	助かっている(計)	大変である(計)
総数	251	67.7	18.7	7.6	4.4	1.6	86.5	12.0
(%)								
(勤労収入)								
50万円未満	6	83.3	16.7	-	-	-	100.0	-
50～100万円未満	10	70.0	10.0	20.0	-	-	80.0	20.0
100～150万円未満	23	78.3	13.0	8.7	-	-	91.3	8.7
150～200万円未満	14	50.0	28.6	7.1	14.3	-	78.6	21.4
200～250万円未満	25	60.0	28.0	4.0	8.0	-	88.0	12.0
250～300万円未満	18	77.8	16.7	5.6	-	-	94.4	5.6
300～350万円未満	18	77.8	11.1	5.6	5.6	-	88.9	11.1
350～400万円未満	13	69.2	7.7	7.7	7.7	7.7	76.9	15.4
400～450万円未満	11	54.5	18.2	9.1	18.2	-	72.7	27.3
450～500万円未満	13	76.9	7.7	15.4	-	-	84.6	15.4
500～600万円未満	16	62.5	31.3	-	-	6.3	93.8	-
600～700万円未満	21	61.9	19.0	14.3	-	4.8	81.0	9.1
700～800万円未満	11	72.7	18.2	9.1	-	-	90.9	22.2
800～900万円未満	9	55.6	11.1	22.2	-	11.1	66.7	33.3
900～1000万円未満	3	33.3	33.3	-	33.3	-	66.7	-
1000万円以上	4	100.0	-	-	-	-	100.0	-
(祖父母と同居し始めた時期)								
ひとり親家庭になる前から	89	65.2	21.3	7.9	5.6	0.0	86.5	13.5
ひとり親家庭になったとき	118	74.6	16.9	5.9	1.7	0.8	91.5	7.6
ひとり親家庭になった後暫くして	28	57.1	17.9	10.7	14.3	0.0	75.0	25.0
その他	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問17 あなたは、今後、祖父母とどのような形でくらすことを希望していますか。(〇は1つ)

図2-6-2 子どもの祖父母との同居意向



祖父母との同居についての今後の希望をみると(図2-6-2)、「できれば祖父母との同居を続けたい」と答えた人が55.8%と多く、同居の継続を希望する人が過半数を占めている。このほか、「当分、同居せざるをえない」と答えた人が30.3%みられ、「できれば別居したい」と答えた人は11.6%となっている。

男女別にみても大きな差はみられないが、「できれば別居したい」という回答は、父子世帯(14.0%)のほうが母子世帯(9.2%)よりも若干多い。

勤労収入別では（表2-6-2）、特に顕著な傾向はみられない。

子どもの祖父母と同居し始めた時期別にみると（表2-6-2）、ひとり親家庭になる前から同居していた人では「できれば祖父母との同居を続けたい」と答えた人（61.8%）が多くなっている。

表2-6-2 子どもの祖父母との同居意向（勤労収入別、祖父母と同居し始めた時期別）

(%)						
	n	できれば祖 父母との同 居を続けた い	当分、同居 せざるをえ ない	できれば別 居したい	その他	無回答
総数	251	55.8	30.3	11.6	0.8	1.6
（勤労収入別）						
50万円未満	6	50.0	50.0	-	-	-
50～100万円未満	10	30.0	30.0	30.0	10.0	-
100～150万円未満	23	65.2	30.4	4.3	-	-
150～200万円未満	14	42.9	42.9	14.3	-	-
200～250万円未満	25	64.0	28.0	8.0	-	-
250～300万円未満	18	61.1	27.8	11.1	-	-
300～350万円未満	18	66.7	16.7	16.7	-	-
350～400万円未満	13	46.2	23.1	23.1	-	7.7
400～450万円未満	11	45.5	27.3	27.3	-	-
450～500万円未満	13	46.2	46.2	7.7	-	-
500～600万円未満	16	56.3	31.3	6.3	-	6.3
600～700万円未満	21	71.4	14.3	9.5	-	4.8
700～800万円未満	11	63.6	27.3	9.1	-	-
800～900万円未満	9	55.6	33.3	-	-	11.1
900～1000万円未満	3	66.7	33.3	-	-	-
1000万円以上	4	25.0	75.0	-	-	-
（祖父母と同居し始めた時期）						
ひとり親家庭になる前から	89	61.8	30.3	7.9	-	-
ひとり親家庭になったとき	118	51.7	32.2	14.4	0.8	0.8
ひとり親家庭になった後暫くして	28	50.0	28.6	17.9	3.6	-
その他	2	-	100.0	-	-	-

3 子ども・子育てについて

(1) 未就学児の世話

お子さんのことについてうかがいます。

小学校に入学する前のお子さんがある方に、問18と問19をお聞きします。

小学校入学前のお子さんがいない方は、問20へお進みください。

問18 平日の日中のお子さんの世話をしているのは、おもにどなたですか。(〇は1つ)

表3-1-1 平日の日中の未就学児の世話(男女別)

													(%)
	n	あなたご自身	子どもの祖父母	祖父母以外の親族	友人・知人・近所の人	幼稚園	認可保育園(役所を通じて入所した保育園)	認可外保育園・託児所・ホテル	勤務先の保育施設	ベビーシッター・保育ママ	その他	無回答	
総数	122	9.8	5.7	-	-	8.2	63.1	3.3	-	0.8	-	9.0	
(男女別)													
父子世帯	31	6.5	16.1	-	-	3.2	45.2	6.5	-	3.2	-	19.4	
母子世帯	91	11.0	2.2	-	-	9.9	69.2	2.2	-	-	-	5.5	

小学校入学前の未就学児のいる世帯(122人)に、平日の日中の世話の状況をたずねたところ(表3-1-1)、「認可保育園(役所を通じて入所した保育園)」と答えた人が63.1%と多く、3人に2人弱の割合となっている。

男女別にみると、「認可保育園(役所を通じて入所した保育園)」と答えた人は父子世帯(45.2%)より母子世帯(69.2%)が多く、父子世帯では「子どもの祖父母」(父子世帯16.1%、母子世帯2.2%)と答えた人が多く、「あなたご自身」(父子世帯6.5%、母子世帯11.0%)と答えた人は母子世帯で多くなる傾向となっている。

同居・非同居別にみると(表3-1-2)、「認可保育園(役所を通じて入所した保育園)」と答えた人は母子非同居世帯(77.4%)で多くなっている。母子同居世帯では、「認可保育園(役所を通じて入所した保育園)」(59.4%)のほか、「あなたご自身」「幼稚園」(ともに18.8%)などが多い傾向がみられる。

表3-1-2 平日の日中の未就学児の世話(同居・非同居別)

(%)

	n	あなたご自身	子どもの祖父母	祖父母以外の親族	友人・知人・近所の人	幼稚園	て入所した認可保育園(役所を通じて)	認可外保育園・託児所・ベビートホテル	勤務先の保育施設	保育ママ・ベビーシッター	その他	無回答
総数	122	9.8	5.7	-	-	8.2	63.1	3.3	-	0.8	-	9.0
(同居・非同居別)												
父子(非同居)	15	6.7	26.7	-	-	6.7	40.0	13.3	-	-	-	6.7
父子(同居)	11	-	9.1	-	-	-	45.5	-	-	-	-	45.5
母子(非同居)	53	5.7	-	-	-	5.7	77.4	3.8	-	-	-	7.5
母子(同居)	32	18.8	3.1	-	-	18.8	59.4	-	-	-	-	-

【問18で「5」～「9」に○をつけた方にお聞きします。】

問18-1 平日の平均的な利用時間は、何時から何時までですか。24時間制でお答えください。

表3-1-3 保育園等の利用開始時間

	n	午 前 6 時	午 前 7 時	午 前 8 時	午 前 9 時	午 後 1 0 時	午 後 3 1 時	午 後 4 時	無 回 答	平 均 (2 4 時 制)
総 数	92	-	9.8	46.7	42.4	-	-	-	1.1	8.3
(男 女 別)										
父 子 世 帯	18	-	11.1	55.6	27.8	-	-	-	5.6	8.2
母 子 世 帯	74	-	9.5	44.6	45.9	-	-	-	-	8.4

表3-1-4 保育園等の利用終了時間

	n	午 前 1 2 時	午 後 1 時	午 後 4 時	午 後 5 時	午 後 6 時	午 後 7 時	午 後 8 時	無 回 答	平 均 (2 4 時 制)
総 数	92	-	10.9	14.1	30.4	35.9	5.4	2.2	1.1	17.1
(男 女 別)										
父 子 世 帯	18	-	16.7	5.6	33.3	27.8	-	11.1	5.6	17.2
母 子 世 帯	74	-	9.5	16.2	29.7	37.8	6.8	-	-	17.1

表3-1-5 保育園等の利用時間

	n	4 未 満 時 間	4 5 時 間	6 7 時 間	8 時 間	9 時 間	1 0 1 時 間	1 1 2 3 時 間	1 以 上 時 間	無 回 答	平 均 (時 間)
総 数	92	-	5.4	14.1	21.7	22.8	31.5	3.3	1.1	-	8.7
(男 女 別)											
父 子 世 帯	18	-	5.6	16.7	16.7	16.7	27.8	11.1	5.6	-	8.6
母 子 世 帯	74	-	5.4	13.5	23.0	24.3	32.4	1.4	-	-	8.7

平日の日中に保育園等を利用している人(92人)について、施設の利用状況をみると、開始時間は(表3-1-3)、「午前8時」(46.7%)、「午前9時」(42.4%)が多くなっている。

保育園等の利用終了時間は(表3-1-4)、「午後6時」(35.9%)、「午後5時」(30.4%)が多くなっている。

1日の利用時間では(表3-1-5)、「10～11時間」(31.5%)が最も多く、次いで「9時間」(22.8%)、「8時間」(21.7%)などが20%強あげられており、利用時間の平均は8.7時間となっている。

【小学校入学前のお子さんがある方全員にお聞きします。】

問19 お子さんが病気になってあなた自身が看病できない場合は、おもにどのようにしていますか。
子どもを預けているところや利用している制度に○をつけてください。(○は1つ)

表3-1-6 未就学児の看病

		(%)							
	n	子どもの 祖父母	祖父母 以外の 親族	友人・ 知人・ 近所	ひとり 親の 仲間や グループ	ベビー シッター ・ 保育 ママ	ひとり 親家庭 への ヘルプ 制度	介護 人派遣 制度	ファミ リ サ ポ ー ト 制 度
総 数	122	66.4	9.0	2.5	-	-	-	-	-
(男 女 別)									
父 子 世 帯	31	67.7	3.2	-	-	-	-	-	-
母 子 世 帯	91	65.9	11.0	3.3	-	-	-	-	-

	認可 保育 (病 後 児 の 病 児 保 育 園)	ベ ビー シ ッター ・ ホ テ ル ・ 託 児 所 ・ 認 可 外 保 育 園	勤 務 先 の 保 育 施 設	シ ョ ー ト ス テ イ ・ ト ワ イ ラ イ ス テ イ ・ 児 童 福 祉 施 設	そ の 他	預 け 先 は な い 利 用 す る 制 度	無 回 答	預 け た り 利 用 す る 制 度 (計)
総 数	-	0.8	-	-	1.6	8.2	11.5	80.3
(男 女 別)								
父 子 世 帯	-	-	-	-	-	3.2	25.8	71.0
母 子 世 帯	-	1.1	-	-	2.2	9.9	6.6	83.5

未就学児が病気になって回答者自身で看病できない場合に預けたり利用している制度についてみると(表3-1-6)、「子どもの祖父母」と答えた人が66.4%と多く、3人に2人の割合となっている。

「ひとり親家庭へのホームヘルプサービス制度」「ファミリーサポート制度」など、地域や行政の子育て支援サービスを利用している世帯は、母子世帯・父子世帯ともに皆無であった。

同居・非同居別にみると（表3-1-7）、母子同居世帯の9割弱は「子どもの祖父母」と答えているが、母子非同居世帯では「子どもの祖父母」（50.9%）のほか、「祖父母以外の親族」（15.1%）などがあげられているが、「預け先や利用する制度がない」と答えた人（17.0%）が2割近くみられる。

表3-1-7 未就学児の看病（同居・非同居別）

(%)

	n	子どもの祖父母	祖父母以外の親族	友人・知人・近所	ひとり親の仲間やグループ	ベビーシッター・保育ママ	ひとり親家庭へのヘルプ（介護人派遣）制度	サポート制度 ファミリィ
総数	122	66.4	9.0	2.5	-	-	-	-
（同居・非同居別）								
父子（非同居）	15	80.0	6.7	-	-	-	-	-
父子（同居）	11	54.5	-	-	-	-	-	-
母子（非同居）	53	50.9	15.1	3.8	-	-	-	-
母子（同居）	32	87.5	6.3	3.1	-	-	-	-

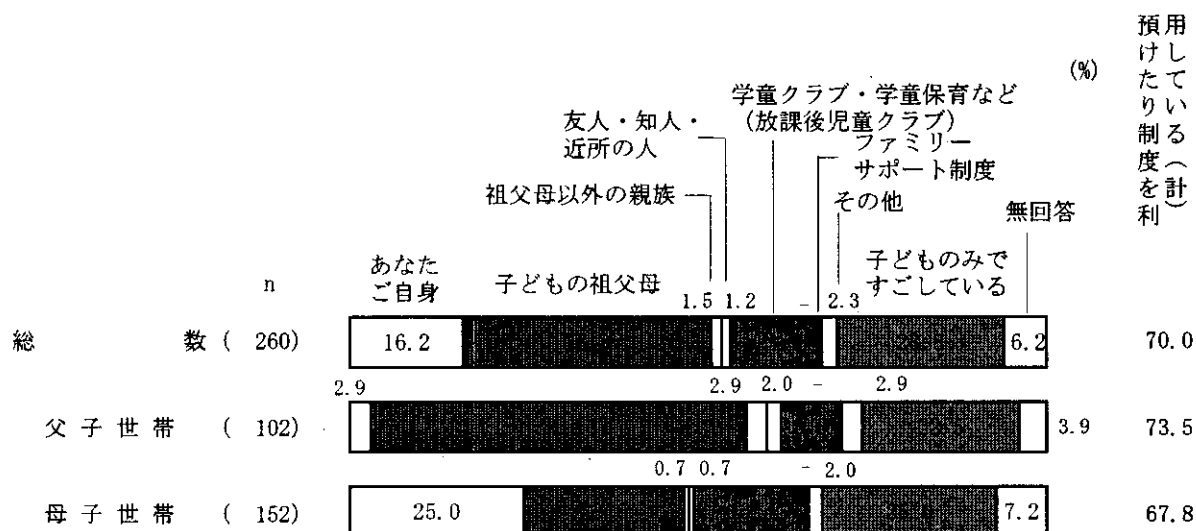
	保育（保育） 認可保育園の病児	ベビーホテル 託児所・ 認可外保育園	勤務先の保育施設	トワイライトステイ ショートステイ・ 児童福祉施設の	その他	制度はない 預け先や利用する	無回答	用いている（計） 預けたり制度を利
総数	-	0.8	-	-	1.6	8.2	11.5	80.3
（同居・非同居別）								
父子（非同居）	-	-	-	-	-	6.7	6.7	86.7
父子（同居）	-	-	-	-	-	-	45.5	54.5
母子（非同居）	-	1.9	-	-	3.8	17.0	7.5	75.5
母子（同居）	-	-	-	-	-	-	3.1	96.9

(2) 小学生の子どもの世話

【小学生のお子さんがある方にお聞きします。小学生のお子さんがいない方は、問23へお進みください。】

問20 平日の放課後は、おもにどなたがお子さんをみていますか。(○は1つ)

図3-2-1 放課後の小学生の世話



小学生の子どもがいる世帯(260人)に、平日の放課後に子どもをみている人をたずねたところ(図3-2-1)、「子どもの祖父母」と答えた人が35.8%と最も多く、このほか「あなたご自身」(16.2%)、「学童クラブ・学童保育など(放課後児童クラブ)」(13.1%)などが15%前後となっている。また、「子どものみですごしている」と答えた人は23.8%とほぼ4人に1人の割合となっている。

男女別にみると、「子どもの祖父母」と答えた人は父子世帯(53.9%)で多く、母子世帯の2倍以上となっており、一方、母子世帯では「あなたご自身」と答えた人(25.0%)が多くなっている。

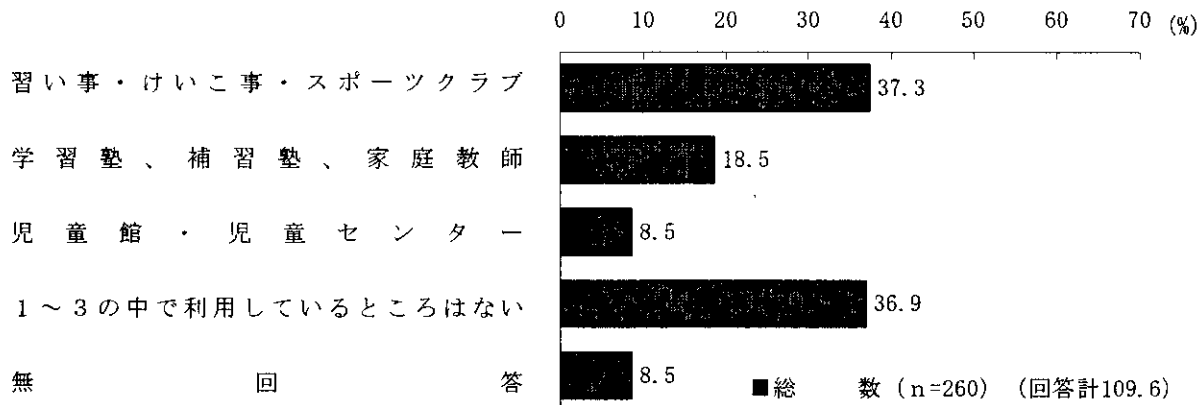
同居・非同居別にみると（表3-2-1）、「子どもの祖父母」と答えた人は父子同居世帯（82.0%）や母子同居世帯（48.0%）で多く、このほか母子同居世帯では「あなたご自身」（22.0%）が多くあげられている。「子どものみで過ごしている」と答えた人は父子非同居世帯（41.0%）、母子非同居世帯（32.6%）で多く、次いで父子非同居世帯では「子どもの祖父母」（28.2%）、母子非同居世帯では「あなたご自身」（24.4%）となっている。

表3-2-1 放課後の小学生の世話(同居・非同居別)

	n	あなたご自身	子どもの祖父母	祖父母以外の親族	近所の友人・知人	児童クラブ・学童保育など(放課後児童クラブ)	制度 ファミリーサポート	その他	子どものみで	無回答	預けている(計)利用
総数	260	16.2	35.8	1.5	1.2	13.1	-	2.3	23.8	6.2	70.0
(同居・非同居別)											
父子(非同居)	39	2.6	28.2	5.1	2.6	10.3	-	5.1	41.0	5.1	53.8
父子(同居)	50	4.0	82.0	-	-	6.0	-	-	6.0	2.0	92.0
母子(非同居)	86	24.4	8.1	1.2	1.2	22.1	-	2.3	32.6	8.1	59.3
母子(同居)	50	22.0	48.0	-	-	12.0	-	2.0	12.0	4.0	84.0

問2 1 平日の放課後、おさんは次のようなところを利用していますか。(〇はいくつでも)

図3-2-2 小学生が放課後利用しているところ



小学生の子どもが平日の放課後、利用しているところをみると(図3-2-2)、「習い事・けいこ事・スポーツクラブ」と答えた人が37.3%と最も多く、次いで「学習塾、補習塾、家庭教師」(18.5%)となっている。一方、「1～3の中で利用しているところはない」と答えた人は36.9%となっている。

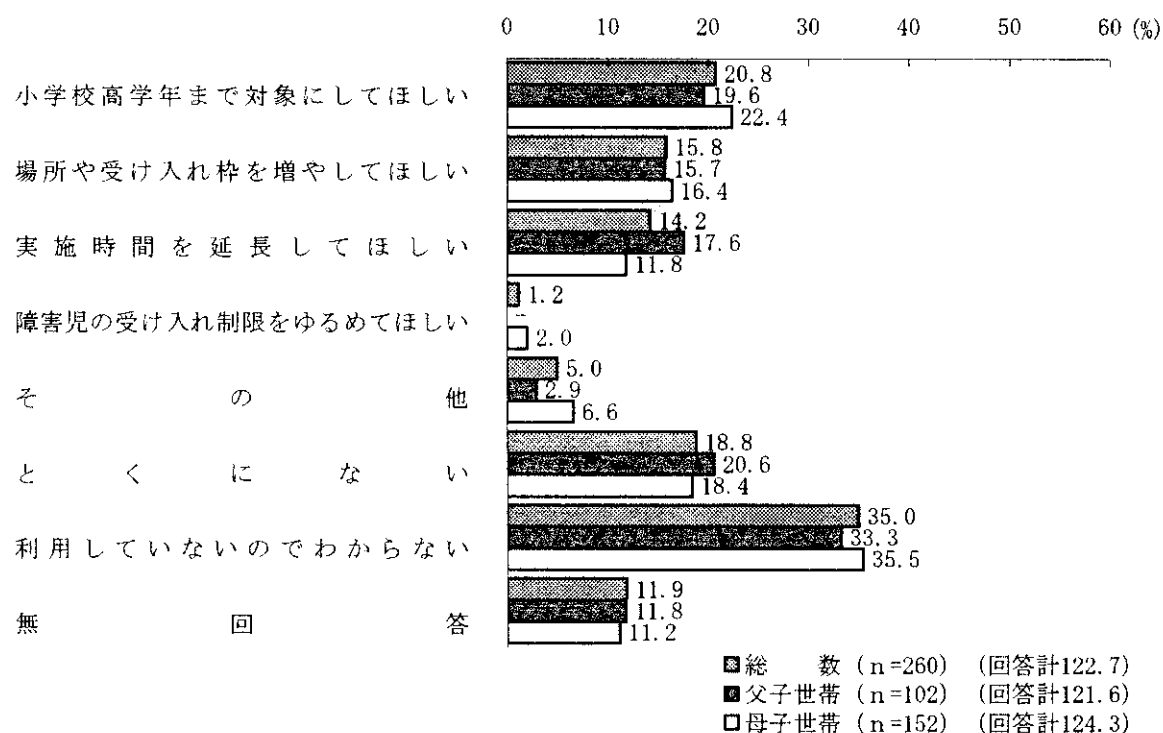
同居・非同居別にみると(表3-2-2)、「学習塾、補習塾、家庭教師」と答えた人は、非同居世帯よりも同居世帯に多くなっている(父子同居世帯34.0%、母子同居世帯22.0%)。「1～3の中で利用しているところはない」と答えた人は、母子非同居世帯(44.2%)が多い。

表3-2-2 小学生が放課後利用しているところ(同居・非同居別)

	n	習い事・ けいこ 事・ス ポーツ クラブ	学習塾、 補習塾、 家庭教師	児童館・ 児童セン ター	1～3の 中で利用 している ところ はない	無回答	回答計	利用して いる (計)
総数	260	37.3	18.5	8.5	36.9	8.5	109.6	54.6
(同居・非同居別)								
父子(非同居)	39	41.0	10.3	10.3	33.3	7.7	102.6	59.0
父子(同居)	50	38.0	34.0	6.0	36.0	2.0	116.0	62.0
母子(非同居)	86	30.2	14.0	5.8	44.2	12.8	107.0	43.0
母子(同居)	50	50.0	22.0	10.0	24.0	6.0	112.0	70.0

問22 あなたは、学童クラブ・学童保育など（放課後児童クラブ）に、どのようなことを望みますか。
 (○はいくつでも)

図3-2-3 学童クラブ等に望むこと



小学生の子どもをもつ人（260人）が、学童クラブ・学童保育など（放課後児童クラブ）に望むことをみると（図3-2-3）、「小学校高学年まで対象にしてほしい」と答えた人が20.8%と多く、次いで「場所や受け入れ枠を増やしてほしい」（15.8%）、「実施時間を延長してほしい」（14.2%）などが15%前後あげられている。また、「利用していないのでわからない」と答えた人（35.0%）が3分の1強みられる。

男女別にみても大きな差はみられないが、「実施時間を延長してほしい」と答えた人は母子世帯（11.8%）より父子世帯（17.6%）で多くみられる。

(3) 子どもの進学

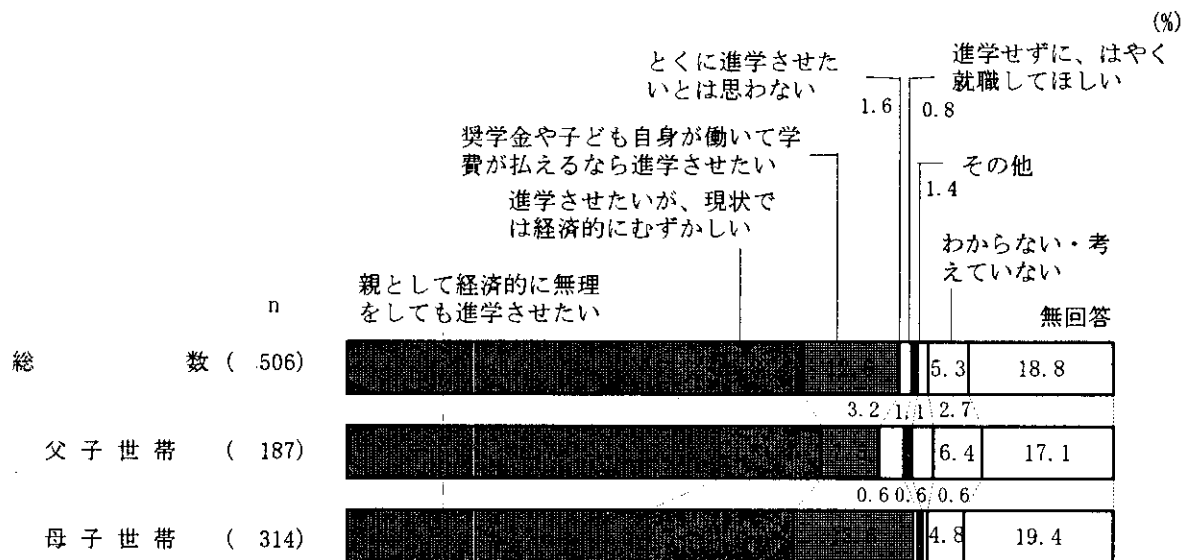
中学生以下のお子さんがある方（中学生をふくむ）に、問23～問25をお聞きます。

中学生以下のお子さんがいない方は、次ページの問26へお進みください。

問23 あなたは、お子さんが短大や大学まで進学したいと望む場合、進学についてどのようにお考えですか。

(○は1つ)

図3-3-1 中学生以下の子どもの進学



中学生以下の子どもをもつ人（506人）に、子どもの進学についての考え方をたずねたところ（図3-3-1）、「親として経済的に無理をしても進学させたい」と答えた人が42.7%と最も多く、このほか「進学させたいが、現状では経済的にむずかしい」（16.8%）や「奨学金や子ども自身が働いて学費が払えるなら進学させたい」（12.6%）などが15%前後あげられている。

「とくに進学させたいとは思わない」（1.6%）あるいは「進学せずに、はやく就職してほしい」（0.8%）と答えた人は少ない。

男女別にみると、「親として経済的に無理をしても進学させたい」と答えた人は母子世帯（39.2%）より父子世帯（48.7%）で多く、母子世帯では「奨学金や子ども自身が働いて学費が払えるなら進学させたい」と答えた人（15.6%）が父子世帯（7.5%）より8ポイント多くなっている。

同居・非同居別にみると（表3-3-1）、年収300万円未満の層では「親として経済的に無理をしても進学させたい」と答えた人がやや少なくなり、「進学させたいが、現状では経済的にむずかしい」あるいは「奨学金や子ども自身が働いて学費が払えるなら進学させたい」と考える人が多くなる傾向がみられる。

表3-3-1 中学生以下の子どもの進学（勤労収入別）

(%)

	n	親として経済的に無理をしても進学させたい	進学させたいが、現状では経済的にむずかしい	奨学金や子ども自身が働いて学費が払えるなら進学させたい	とくに進学させたいとは思わない	進学せずに、はやく就職してほしい	その他	わからない・考えていない	無回答
総数	506	42.7	16.8	12.6	1.6	0.8	1.4	5.3	18.8
(勤労収入別)									
50万円未満	12	58.3	16.7	-	-	-	-	8.3	16.7
50～100万円未満	38	39.5	26.3	5.3	2.6	-	-	7.9	18.4
100～150万円未満	71	32.4	18.3	23.9	1.4	1.4	-	4.2	18.3
150～200万円未満	43	20.9	25.6	23.3	-	2.3	2.3	4.7	20.9
200～250万円未満	46	34.8	17.4	15.2	-	-	2.2	4.3	26.1
250～300万円未満	29	37.9	17.2	10.3	3.4	-	-	3.4	27.6
300～350万円未満	27	48.1	18.5	18.5	3.7	-	-	3.7	7.4
350～400万円未満	16	56.3	12.5	6.3	-	-	-	6.3	18.8
400～450万円未満	27	40.7	22.2	14.8	3.7	3.7	-	3.7	11.1
450～500万円未満	26	42.3	7.7	15.4	-	-	3.8	7.7	23.1
500～600万円未満	30	56.7	6.7	13.3	-	-	3.3	3.3	16.7
600～700万円未満	31	77.4	3.2	-	3.2	-	-	3.2	12.9
700～800万円未満	15	73.3	-	-	-	-	-	6.7	20.0
800～900万円未満	11	81.8	-	-	9.1	-	-	-	9.1
900～1000万円未満	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-
1000万円以上	6	66.7	-	-	-	-	16.7	-	16.7

(4) 児童館等の利用

問24 あなたやあなたのお子さんは、児童館や児童センターを利用していますか。(○は1つ)

図3-4-1 中学生以下の子どもの児童館等利用

(%)

	n	利用している	利用していない	無回答
総数	(506)	71.9		19.4
父子世帯	(187)	73.3		20.3
母子世帯	(314)	71.0		18.8

回答者自身や中学生以下の子どもの児童館等の利用についてみると(図3-4-1)、児童館や児童センターを「利用している」と答えた人は8.7%で、1割弱となっている。

男女別にみても、児童館や児童センターの利用に大きな差はみられない。

末子年齢別にみると(図3-4-2)、末子年齢が3歳~11歳で「利用している」と答えた人が多くなる傾向となっている。

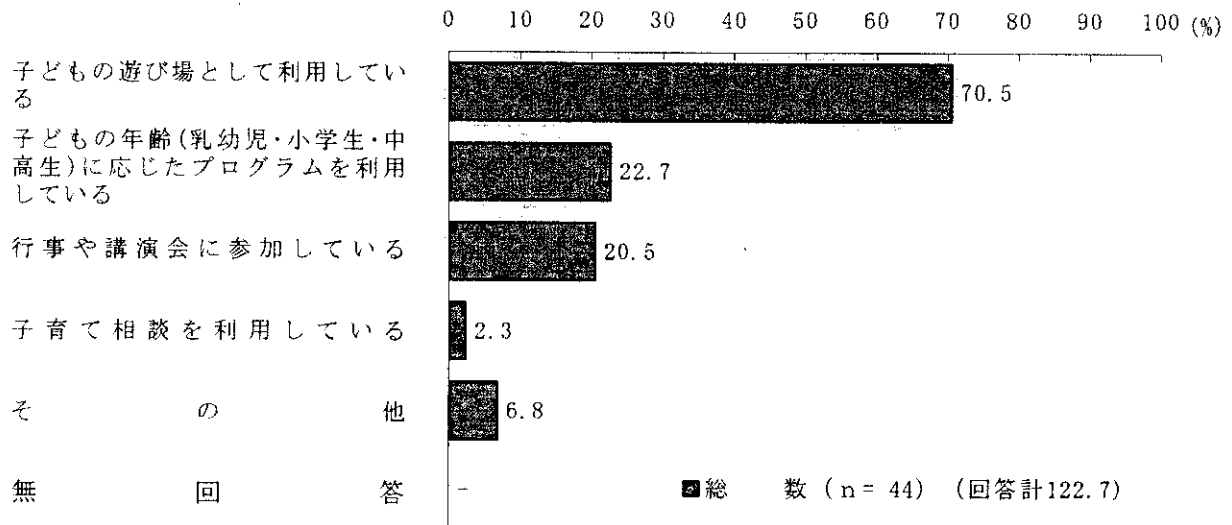
図3-4-2 中学生以下の子どもの児童館等利用(末子年齢別)

(%)

	n	利用している	利用していない	無回答
総数	(506)	71.9		19.4
0歳	(5)	20.0	80.0	
1~2歳	(27)	55.6		37.0
3~5歳	(71)	69.0		18.3
6~8歳	(105)	71.4		17.1
9~11歳	(110)	67.3		20.0
12~14歳	(134)	85.1		9.7
15~17歳	(53)	67.9		32.1

【問24で「1」に○をつけた方にお聞きします。】
 問24-1 どのように利用していますか。(○はいくつでも)

図3-4-3 児童館等利用目的



児童館や児童センターを利用している世帯(44人)について、利用内容をみると(図3-4-3)、「子どもの遊び場として利用している」と答えた人が70.5%と最も多く、このほか「子どもの年齢(乳幼児・小学生・中高生)に応じたプログラムを利用している」(22.7%)、「行事や講演会に参加している」(20.5%)などが2割強となっている。

【問24で「2」に○をつけた方にお聞きします。】

問24-2 利用していないのはなぜですか。(○は1つ)

表3-4-1 児童館等を利用しない理由

	n	近所に児童館・児童センターがないから	児童館・児童センターを知らないから	乳幼児は対象でないと思うから	中高生は対象でないと思うから	利用したいプログラムがないから	子どもが行きたがらないから	行く必要をとくに感じないから	他に利用しているところがあるから	その他	無回答
総数	364	14.3	13.5	1.9	10.7	1.1	9.6	36.5	1.9	4.4	7.7
(男女別)											
父子世帯	137	13.1	15.3	0.7	5.8	0.7	10.2	43.8	2.2	4.4	5.1
母子世帯	223	15.2	12.6	2.7	13.5	1.3	9.0	31.8	1.8	4.5	9.4

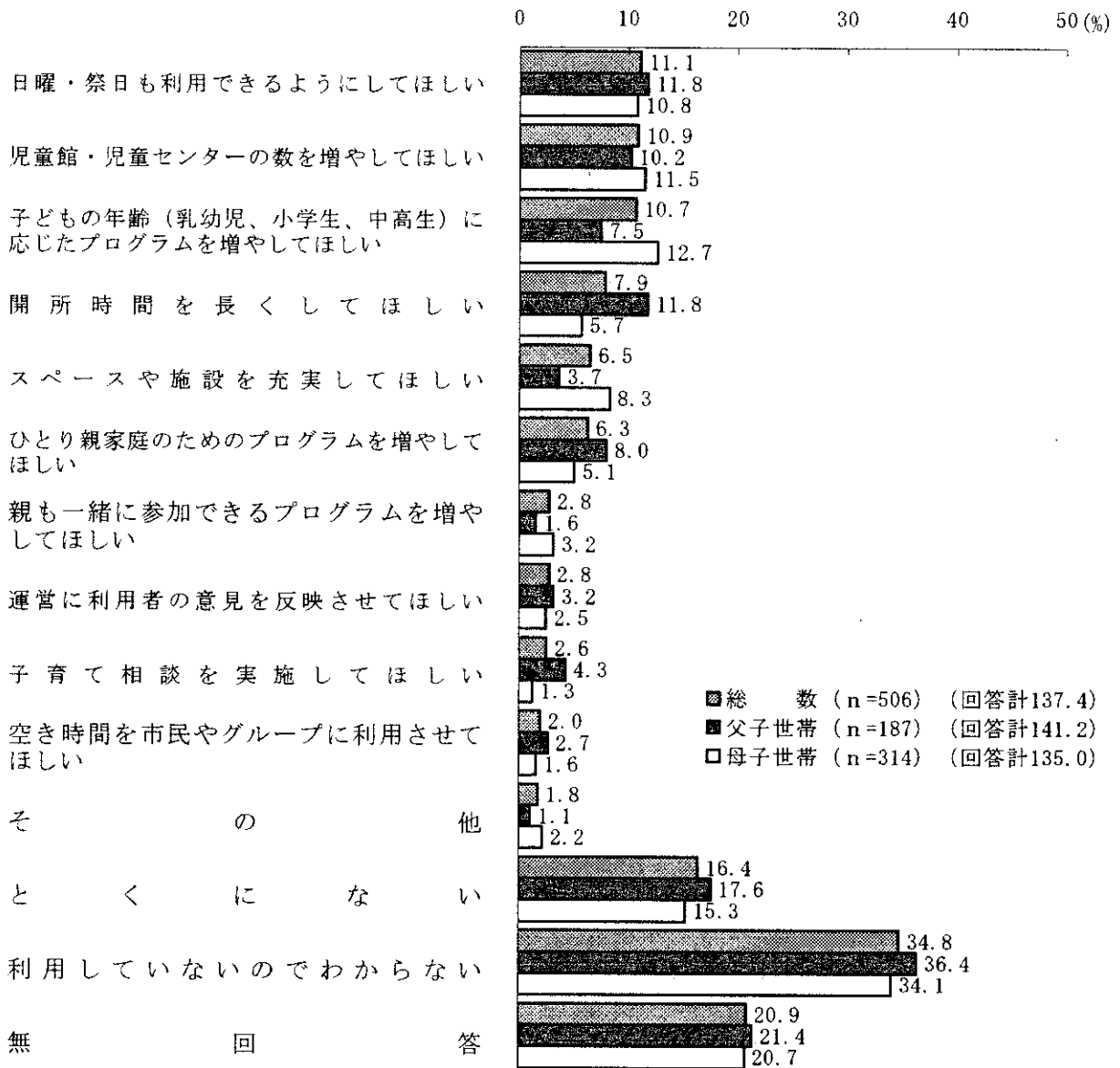
児童館や児童センターを利用していない世帯(364人)について、利用しない理由をみると(表3-4-1)、「行く必要をとくに感じないから」と答えた人が36.5%と最も多く、このほか、「近所に児童館・児童センターがないから」(14.3%)、「児童館・児童センターを知らないから」(13.5%)、「中高生は対象でないと思うから」(10.7%)などが1割台であげられている。

男女別にみると、「行く必要をとくに感じないから」と答えた人は母子世帯(31.8%)より父子世帯(43.8%)で多くなっており、「中高生は対象でないと思うから」と答えた人は母子世帯(13.5%)でやや多くみられる。

(5) 児童館や児童センターへの要望

問25 あなたは、児童館や児童センターに、どのようなことを望みますか。(〇はいくつでも)

図3-5-1 児童館等への要望



中学生以下の子どもをもつ人(506人)に、児童館や児童センターに望むことをたずねたところ(図3-5-1)、「日曜・祭日も利用できるようにしてほしい」(11.1%)、「児童館・児童センターの数を増やしてほしい」(10.9%)、「子どもの年齢(乳幼児、小学生、中高生)に応じたプログラムを増やしてほしい」(10.7%)などが1割程度あげられている。また、「利用していないのでわからない」と答えた人が34.8%、「とくにない」と答えた人が16.4%みられる。

男女別にみると、「開所時間を長くしてほしい」と答えた人(父子世帯11.8%、母子世帯5.7%)は父子世帯で、「子どもの年齢(乳幼児、小学生、中高生)に応じたプログラムを増やしてほしい」と答えた人(同7.5%、12.7%)は母子世帯で多い傾向となっている。